

「これからの中学校英語科における授業づくり～指導と評価編～」の見方

「単元を通して育成を目指す資質・能力」を示しています。佐賀県小・中学校学習状況調査等の結果より課題の見られる6つの資質・能力を取り上げています。

単元の「評価規準」を示しています。「評価規準」は、国立教育政策研究所から出された「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を基に作成しています。

単元の「指導と評価の計画」を示しています。

「本時の展開」を言語活動等と教師の指導のポイントの視点から示しています。

生徒が単元の目標や本時のねらいに迫ることができるよう「本事例における指導の工夫等」を示しています。

関係する領域の「英語の目標」を示しています。

「学習評価のキーワード」を示しています。

「『努力を要する』状況(c)の生徒への手立て(例)」を示しています。

生徒が本時のねらいに迫ることができるよう「教師の指導のポイント」を示しています。

事例1

単元 日本文化を紹介する(第3学年 全4時間)	英語の目標 「書くこと」イ
単元を通して育成を目指す資質・能力 テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力	学習評価のキーワード 「書くこと」における「思考・判断・表現」の評価

※本事例では、令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果より、「テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力」に課題が見られたことを踏まえて、「英語の目標」「単元を通して育成を目指す資質・能力」「学習評価のキーワード」を設定しています。

1 単元の目標と評価規準

(1) 目標

来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。

(2) 評価規準(「書くこと」の評価規準)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・受け身を用いた文の構造を理解している。 ・日本文化について、受け身の文などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。	来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書いている。	来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書こうとしている。

※ここでは、「書くこと」についての評価規準を示していますが、実際の指導に当たっては、「話すこと」「発表」などの他の領域の評価規準を設定することも考えられます。

2 指導と評価の計画(全4時間)

※「書くこと」のパフォーマンス活動を行う単元を題材として取り扱っています。

時間	ねらい(■)、言語活動等(丸数字)	知 思 感	【評価方法】
1	■単元の目標を理解する。 ①自己目標を設定する。 ②「外国から見た日本」の映像を見る。 ■教科書本文の内容を捉え、伝え合ったことを書く。 ③教科書本文を読み、読み取れた内容についてペアで伝え合う。 ④教科書本文に使われている未習の語の意味や受け身の構造と意味を理解する。 ⑤ピクチャー・カードとマッピングを用いて、教科書本文の内容をペアで伝え合う。 ⑥ペアで伝え合ったことを書く。	本時では、「指導に生かす評価」を行います。 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・教科書本文の内容の読み取りが十分ではない生徒に対しては、読み取りのポイントを示す(言語活動等③)。	

3 本時[第3時]

(1) 本時のねらい

来日したばかりのALTに日本のよさを伝えるために、日本文化について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて、まとまりのある文章を書く。

(2) 本時の展開

言語活動等	教師の指導のポイント
①原稿モデルを提示し、「書くこと」に関する判定基準(ルーブリック)を確認する。	・ALTに日本文化を紹介する目的を確認する。 ・読み手に配慮した文章を書くことができるように、原稿モデルと判定基準(ルーブリック)を提示する(2p.3-4)。
②判定基準(ルーブリック)を基に、自己目標を設定する。	・主体的に学習に取り組むことができるように、目標やその達成のための工夫を考えさせる。
③マッピングを基に日本文化紹介文を書く。	・まとまりのある文章を書くことができるように、整理した情報をラベリングしたりナンバリングしたりするよう指導する(2p.5)。
④書いた文章をグループで読み合い、修正が必要な箇所に下線を入れる。	・読み手に配慮した文章にするために、英語使用の正確さや表現内容の適切さ、文章校正等の観点からチェックリストを提示する(2p.6)。 ・まとまりのある文章を書くことができる生徒の文章を取り上げ、全体に紹介する。
⑤下線部を確認し、文章を修正する。	・どのように修正すれば、読み手に配慮した文章にすることができるか考えるよう促す。
⑥自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明らかにする。	・生徒が自己の成長や課題を自覚することができるよう振り返りの視点を与える。

4 本事例における指導の工夫等

ここでは、本事例において「テーマについて事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力」を身に付けさせるための指導の工夫等を紹介しています。

(1) 言語活動を行う前に原稿モデルと判定基準(ルーブリック)を提示

本時の展開の言語活動等①において、言語活動を行う前に生徒に提示した原稿モデル(資料1)と判定基準(ルーブリック)(p.4資料2)を示します。

Title	How about going to Ogi?
Introduction	If you want to experience Japanese culture, you should visit Ogi.
Body	Ogi is in the west of Saga city. You can go there by train. There are about 3,000 cherry trees in Ogi park. They are so beautiful. In spring many people visit there to enjoy Hanami. Hanami is a cherry blossom viewing. You can enjoy food and drinks under the cherry trees. If you like photography, you can take pictures of cherry blossoms there. Ogi is famous for Japanese sweets. Yokan is one of the most famous Japanese sweets. It's very delicious. There are many yokan shops in Ogi. Each shop has its original yokan like yomogi flavor, ginger flavor and so on.

【資料1 原稿モデル】

単元終末や後日に生徒が「単元を通して育成を目指す資質・能力」を身に付けることができたかを見取るための「評価問題」を示しています。

5 評価問題

単元の指導を通して、育成を目指す資質・能力が身に付いたのかテストを行う必要があります。ここでは、そのための評価問題や採点の基準の例を示します。



- (1) 後日のパフォーマンステスト（アメリカの学生にメールを返信する「書くこと」）
パフォーマンステストにおいて、日本文化について、「事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力」を見取るために、「書くこと」に重点をおいた領域統合型の評価問題を出題しています（資料7）。「思考・判断・表現」の評価問題です。

【指示文】

アメリカに住む学生のジョンからあなたに次のようなメールが届きました。あなたはこれからジョンにメールを返信します。ジョンが知りたいことについて一つ選び、その具体的な説明やお勧めの理由などを添えてメールを作成し、返信しましょう。

Hi, I'm John. I'm a junior high school student in the U.S.
I'm really interested in Japan. Especially, I want to read Japanese manga. What is the most popular manga in Japan? Please tell me the title and its story.
I want to know delicious Japanese food too. What do you recommend? I want to try it.
I'm looking forward to hearing from you soon.
Thanks,
John



【資料7 評価問題】

① 採点の基準の例

「思考・判断・表現」においては、表現内容の適切さを評価する際の条件を3つ設定しました（資料8）。その上で、パフォーマンステスト（「書くこと」）の判定基準（ルーブリック）（資料9）を作成し、各観点において評価することとしました。

- 【条件1】：ジョンが知りたいこと（日本の漫画 or おいしい日本食）について紹介している。
【条件2】：ジョンが知りたいことについて、ジョンの興味を喚起するように説明している。
【条件3】：事実や自分の考えを整理して、お勧めの理由を書いている。

【資料8 「思考・判断・表現」（表現内容の適切さ）を評価するための条件】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で書くことができる。	3つの条件を満たして書いている。	3つの条件を満たして書こうとしている。
b	一部誤りがあるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。	1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして書いている。	1つの条件を満たしていないが、それ以外の2つの条件を満たして書こうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

【資料9 パフォーマンステスト（「書くこと」）の判定基準（ルーブリック）】

生徒のパフォーマンスの「採点の基準」を示しています。この例では、「思考・判断・表現」（表現内容の適切さ）を評価するための「条件」や、「判定基準（ルーブリック）」を示しています。

実際にどのように生徒のパフォーマンスを評価したのか、具体例を示しています。

② 生徒のメール記述例及び評価結果



生徒

【メール記述例】

Hi, John. Thank you for your e-mail.
I like Japanese food is natto. 【条件1】
Natto is famous Japanese food. It made by soybeans. It's good. 【条件2】
Please eat natto. It's very delicious and you can buy natto Amerika too. 【条件3】
Your Friend,
Kenta

※下線部は誤りのある英文

【判定基準（ルーブリック）に基づく分析結果】

【知識・技能】

・綴りや語順等に間違いがある。また、受け身の特徴やきまりを理解せず正確に書いている。

【思考・判断・表現】

- ・ジョンが知りたいこと（おいしい日本食）について紹介している。
⇒【条件1】を満たしている。
・納豆について「有名」「豆からできている」と説明しているが、ジョンは納豆がどんな食べ物かあまり分からなかったため、納豆を食べたいとは思わなかった。
⇒【条件2】を満たしていない。
・「納豆はおいしくてアメリカでも買える」とお勧めの理由を書いている。
⇒【条件3】を満たしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

・パフォーマンステストへの取組の観察結果を加味しつつ、【思考・判断・表現】と一体的に評価した。

【評価結果】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a~c	c	b	b
判断した理由	正確な英文で書くことができていない。	条件2を満たしていないが、条件1, 3を満たして書いている。	条件2を満たしていないが、条件1, 3を満たして書こうとしている。

生徒のパフォーマンスの「判定基準（ルーブリック）」に基づく分析結果」を示しています。

生徒のパフォーマンスの「評価結果」を示しています。

先生方が授業づくりをされる際のモデルとして御活用いただければ幸いです。

